

R7年4月

[illegible]

基本方針				取組	実 施 時 期														
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期	
子 ど も の 主 体 性 を 育 て ま す	子どもの 主体性を 育む授業 へ転換し ます	主体的・対話的で深い 学びの教育を進め ます	友達の意見を大事し ながら、主体的に課 題解決に取り組む子 ども	主体的・対話的で深い学びをふまえた校内 授業研究を実施します。 日々の学習活動で合意形成を図る話し合い の場の充実を図ります。			授業研			授業研 全校研究会	授業研	授業研 全体研究会	授業研		授業研		継続	継続	
	子どもが 参画する 学校づく りを行いま す	子どもが主体的に行 う行事を実施しま す。	集団への一員である ことに対する自覚を 高め、人と人とのふ れあいやつながりを 大切にする子ども	児童会行事については児童が主体となって 実施します。その他の行事についても、児 童会として参加できる場面や方法を検討し ていきます。	1年生を 迎える会						運動会		安倉小まつ り		園工展	6年生を 送る会	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる	
		学校の課題につい て、児童自らが考え 取り組みを進めま す。	学校や地域の課題を 把握し、課題解決に 向けて思考する子ど も	学級活動や委員会活動にて意見交換を行 い、課題解決に向けて取り組みます。	たて割り掃除												拡充	拡充	
					創意工夫のある学級活動・委員会活動														
		子どもへ のエンバ ワメント を促進し ます	C A P の活用と検証 を行います	自分の思いを言葉や 態度で適切に表現で きる子ども	3年生でC A P の授業を行い、自分の心と 体を守る予防教育を実施し、その成果と課 題をつかみます。													継続	継続
			いじめ防止教育につ ながるゲストティー チャーの授業を行いま す		弁護士や警察官、大学教授など、人権に関 する講師による児童対象の出前授業を実施 します。							4年 5年 6年						継続	継続
チ ー ム 学 校 で 取 り 組 み ま す	学校の組 織対応力 を向上さ せます	教師が一人で抱え込 まない教師集団を作り ます	日常的に情報交換を行 い、互いに信頼し合え る教職員	学年や専科の枠を超えて相談できる場や チームで対応できる体制の充実を図りま す。					討議					討議			継続	継続	
		多職種連携を推進し ます	互いの専門性を信頼し、 連携できる学校組織	各担当、SC,SSWがそれぞれの専門性を活かし、各 ケースに対応したチーム会議を開催します。	コア会議 ケース会議													継続	継続
	子どもを 育む地域 や関係機 関との連 携を行いま す	地域ぐるみで子ども を見守ります	情報を発信し、家庭・ 地域に開かれた学校	学校運営協議会、青少年育成市民会議等で、学校の様子を 説明し、地域で子どもを育むことの協力を求めます。	見守り隊 各ボランティア 活動		学校運営協議 会					学校運営協議 会				学校運営協議 会	継続	継続	
		保育所・幼稚園・小 中学校・養護学校の 連携を強化します	中学校区における目 指す子ども像の実現 に向けた教育の連携 を推進する保幼小中 学校園所	中学校区の子どもの実態等の情報交換を行 い、いじめに対する学校の指導体制・指導 内容の充実を図ります。				連携会議					連携会議		中学校授 業・部活 動見学 幼稚園と の交流授 業	連携会議	継続	継続	
		関係機関との連携を 図ります	関係機関と情報を共有 し、迅速に対応できる 学校組織	学校の各ケースについて、常に家庭児童相談室、青 少年センター等と組織的に連携を図ります。	連携													継続	継続
	及 び 根 拠 に し て す る 体 罰 を 罰	体罰を根 絶します	体罰の禁止を徹底し ます	子ども一人ひとりの人 権を守ることに徹する 教職員	体罰・ハラスメントの根絶に向けた事例研 修を実施し、教職員の人権意識を高めま す。	研修			研修					研修				継続	継続
あらゆる ハラスメ ントを根 絶します		あらゆるハラスメン トを根絶します	研修					研修					研修				継続	継続	